様式３　【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県　ＨＰ公開（可・　否 ）

区分	１.森づくり　２.森の恵み　３.森と技 ４.森と暮らし（○）　５.森の文化財　６.森の風景	
分野（ふりがな）	（分野） あがりこ	（ふりがな） あがりこ
地域独特の呼び方	—	—
タイトル	コナラのあがりこ	
伝承地域	只見町（黒沢地区など）	
由来（年代）	（いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで（いつまで）伝えられてきたか） 薪炭材などの生産を目的とした雪上伐採と、台刈位置からの萌芽再生により形成された樹形である。	
内　　容	（内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども） ブナやナラは、明治以前から主に薪炭材・木地材として伐採されてきた。豪雪地帯では、地上2〜3メートルの位置から雪上伐採となり、伐採後は萌芽が薪炭用の太さまで育つのを待った。これを幾度となく繰り返したことにより、根元の幹の節が盛り上がってごつごつしたようになり、巨大化したものが「あがりこ」である。地上から上がったところから、子が出ているということから名づけられとも言われている。	
大きさ・材質	（大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。） —	（材質） —
見　　頃	（緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。） —	
交通アクセス	只見駅から車で約 10 分	
文化財等の指定状況	—	
問い合わせ先	只見町教育委員会　　電話　０２４１－８２－５３２０	

【フリーフォーマット】

キーワード

＜コナラのあがりこ＞

（只見町教育委員会）